

松浦の秋まつり



10月から11月にかけて、市の特産物のPRやまちおこしなどを目的に、各地域でさまざまなお祭りや、地域の特色を生かしたイベントが開催されました。

今月号では、その中のいくつかを紹介します。

松浦おさかなまつり

第16回松浦おさかなまつり（松浦魚市場協会主催）が、10月13日、松浦魚市場で開催されました。

このまつりは、基幹産業の水産業を市内外に広くPRしようと、毎年開かれています。

この日は、鮮魚や海産物などの販売、魚のつかみどり、松浦産クロマグロの解体実演、魚の模擬セリ、海鮮鍋の無料配布などが行われ、市内外から多くの人を訪れました。

魚のつかみどりでは、子どもたちが全身ずぶ濡れになりながらも、水槽内の魚を必死に追いかけ、魚を捕まえると自慢げに家族や友達に見せていました。



福島ふるさと祭り

第27回福島ふるさと祭り（福島町ふるさと祭り懇話会主催）が11月11日、福島総合運動公園お祭り広場で開催されました。

会場では、農産物・海産物の展示即売コーナーや食事コーナーのほか、松浦牛のバーベキューコーナーも設けられ、地元のおいしい食材を堪能しようと集まった多くのお客さんでにぎわいました。また、ステージではラテンギターや津軽三味線の演奏、フラダンスやよさこい踊りがあり、観客からは手拍子や掛け声が送られ、会場内は祭りならではのにぎやかな雰囲気に包まれていました。



コスモス畑の収穫祭

第10回コスモス畑の収穫祭（田代地区グリーン・ツーリズム研究会主催）が11月4日、御厨町の田代地区で開催されました。

会場には、約4000平方メートルの畑に、約50万本のコスモスが色鮮やかに咲き誇り、そば打ちやわら草履作りが体験できる田舎体験コーナーや農産物直売所も設けられていました。また、焼き芋・いもち・かまどご飯の無料配布や案山子コンテストなどが行われ、会場を訪れた人たちは秋空の下、きれいに咲いたコスモスの花や地元で採れた秋の味覚を思う存分に楽しんでいました。



松浦水軍まつり

第12回松浦水軍まつり（同実行委員会主催）が、10月27日、28日の両日、市役所周辺で開催されました。オープニングでは、今回初の試みとして、本市出身の劇作家である岡部耕大氏の作・演出による舞台「松浦党鎧武者出陣！」を上演。武者たちの重厚で迫力ある演技が、2日間にわたる祭りの開始を告げると、ステージイベントや会場周辺のサブイベント、物産の展示即売などが始まり、会場内は一気にお祭りムードへと変わりました。

1日目は、午後からあいにくの雨模様となりましたが、バンド演奏やマジックショー、和太鼓演奏や園児によるマーチングなどで会場内は盛り上がりました。一転して好天に恵まれた2日目は、ホリさんのものまねショーやYOSAKOIダンス、武者行列や市民総踊りなどが行われ、会場とその周辺は大勢の人出でにぎわいました。



福島一周わいわいフェスタ

福島一周わいわいフェスタ（福島陸上協友会主催）が11月4日、福島町で開催されました。

この大会は健康維持と交流を目的に毎年開催されています。

この日は、市内外から約170人が参加。福島港バス停前を発着点として、福島町を一周する13.15^{キロ}のコースを、歩いたり走ったりと思いつきの速さでゴールを目指しました。

コースの途中には、「イロハ島」や「土谷棚田」など福島町ならではの景観が広がり、参加者たちは、さわやかな汗を流しながら、秋の一日を楽しみました。



いきいきウォーク in 志佐

第7回松浦市健康づくりウォークラリーいきいきウォーク in 志佐（市健康づくり推進協議会主催）が11月3日に開催されました。

この大会は、「自分の健康は、自分でつくり、守る」を合言葉に子どもからお年寄りまで、健康づくりと仲間づくりを目的に行われています。

この日は、市内外から122人が参加。志佐川流域を歩く初級コース（3.2^{キロ}）と中級コース（6.8^{キロ}）、不老山に上る上級コース（9.1^{キロ}）の3つのコースに分かれ、さわやかな秋晴れの中、参加者たちは、心地よい汗を流しました。

